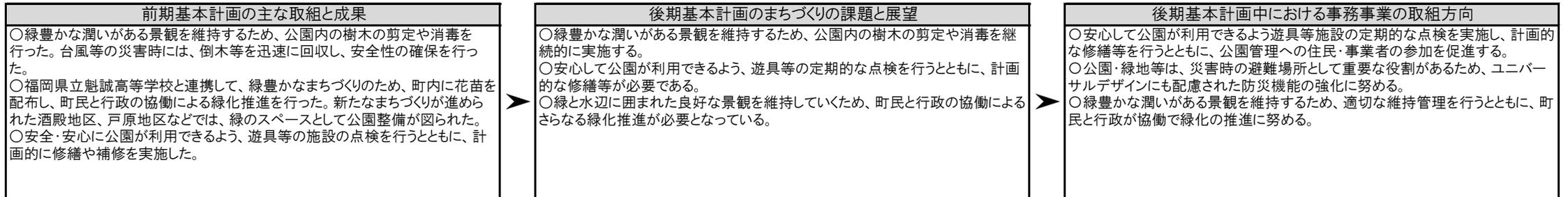
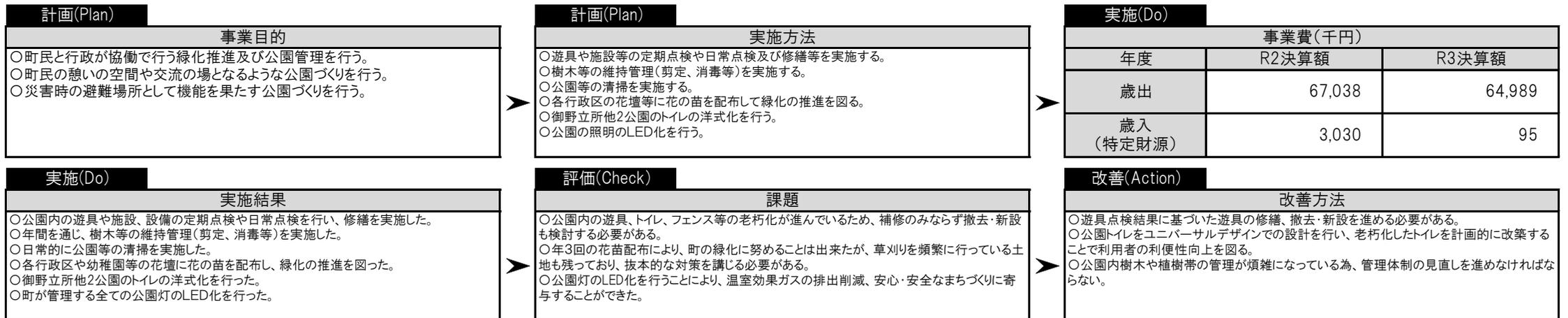


事業名	10810202 緑化・公園管理事業	所管課	都市政策部 都市計画課		事業年度	令和3年度		事業区分		—
		根拠法令	都市公園法・粕屋町都市公園条例		予算科目	会計	款	項	目	公園費
		行政計画	都市計画マスタープラン			一般会計	8	1	2	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	1 自然と調和した便利で快適なまちづくり		施策	(2) 緑と水辺に囲まれた潤いある暮らしの創造				

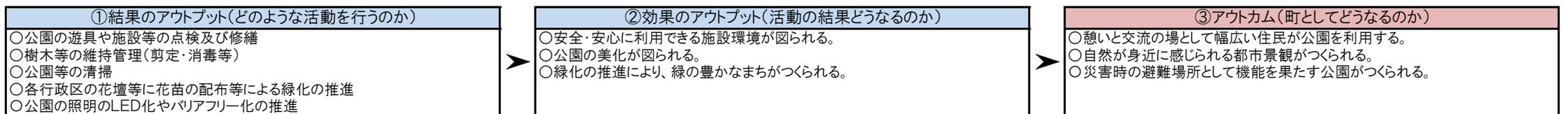
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)

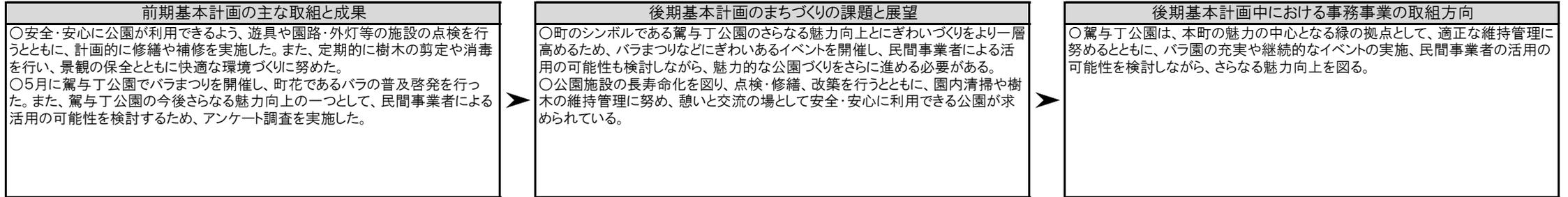


活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
花苗配布箇所数	目標値		30	33
	実績値	29	31	
単位: 箇所/年	年		103.3%	0.0%
公園巡回回数	目標値		12	12
	実績値	12	12	
単位: 回/年	達成率		100.0%	0.0%

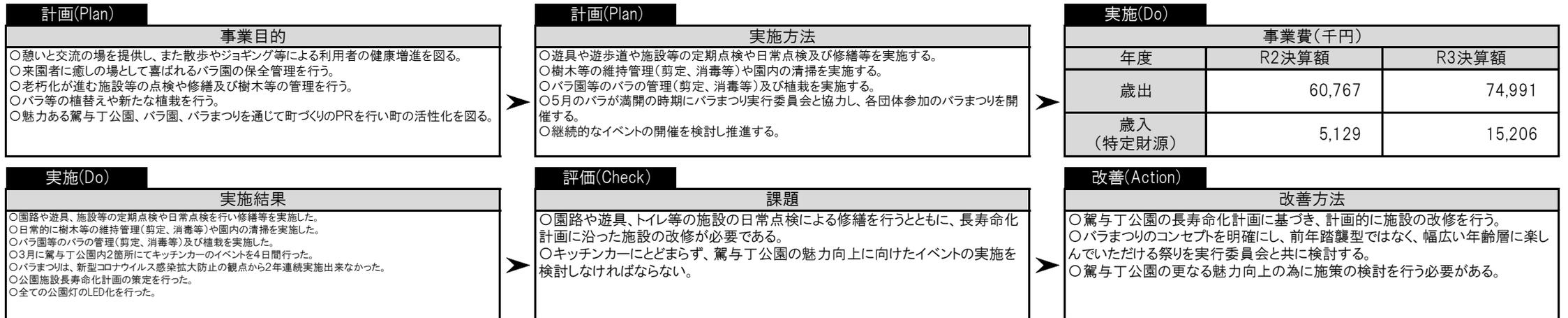
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
町民又は事業者が参画した公園管理活動件数	目標値		289	309
	実績値	284	275	
単位: 件/年	達成率		95.2%	0.0%
公園内での事故件数	目標値		0	0
	実績値	0	0	
単位: 件/年	達成率			

事業名	10810203 駕与丁公園魅力向上事業	所管課	都市政策部 都市計画課		事業年度	令和3年度		事業区分		重点P(魅力誇り)/R3重点
		根拠法令	都市公園法・粕屋町公園条例		予算科目	会計	款	項	目	公園費
		行政計画	都市計画マスタープラン			一般会計	8	1	2	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	1 自然と調和した便利で快適なまちづくり		施策	(2) 緑と水辺に囲まれた潤いある暮らしの創造				

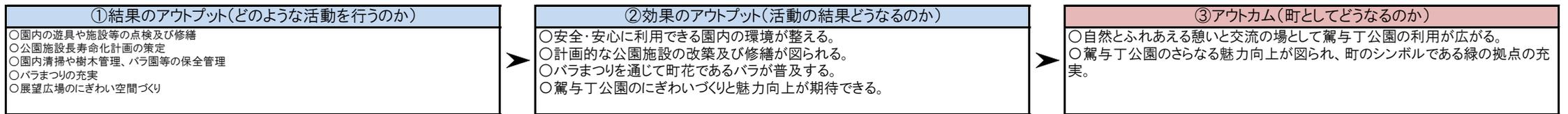
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
駕与丁公園に関する情報発信件数 単位: 回/年	目標値		47	55
	実績値	45	47	
	達成率		100.0%	0.0%
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策] 駕与丁公園の延べ利用団体数 単位: 団体/年	目標値		413	440
	実績値	400	48	
	達成率		11.6%	0.0%
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			

事業名	10850104 都市計画管理推進事業	所管課	都市政策部 都市計画課	事業年度	令和3年度	事業区分			—
		根拠法令	都市計画法、建築基準法	予算科目	会計	款	項	目	都市計画総務費
		行政計画			一般会計	8	5	1	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	1 自然と調和した便利で快適なまちづくり	施策	(1) 自然と調和した都市空間の創造				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国的な人口減少や少子高齢化の進展など町をとりまく社会環境が大きく変化している中、計画的なまちづくりを推進するため、都市計画の指針となる都市計画マスタープランの中間見直しを策定委員会を開催し進めた。 ○屋外広告物許可制度に基づく規制、違反広告物の撤去を実施した。はり紙、立看板等の違反広告物の除却により、良好な景観の形成、風致の維持ができ、自然災害による広告物の飛散による事故防止、抑止にも繋がった。 	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通の利便性を活かした物流施設用地、商業・サービス用地の確保を図る。 ○良質な生活空間をつくるため、住宅用地の確保、土地区画の整理等を進める。 ○住所をわかりやすくするため、住居表示を進める。 ○屋外広告物については、良好な景観の維持のため、引き続き違反広告物の撤去とともに、設置者に対し許可制度の周知を図る。 	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ○秩序ある土地利用の促進・維持と町の都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを進めるため、開発や建築確認申請、開発指導要綱に基づく協議を行い土地利用の適切な指導と誘導を図る。 ○広域交通の利便性の良さを生かし、九州自動車道福岡IC周辺に業務施設の立地誘導と集約化を図る。 ○住居表示を実施することで住所がわかりやすくなり、緊急車両がより早く現場に到着でき、また訪問先の家が探しやすくなることを目指す。 ○屋外広告物許可制度に基づく規制、違反広告物の撤去を実施し、良好な景観の形成、風致の維持を図る。
---	--	---

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画マスタープランに基づくまちづくりを進めるため、秩序ある土地利用の促進・維持を図る。 ○住居表示実施区域を広げ町内の住所をわかりやすくし、緊急車両がより早く現場に到着でき、また訪問先の家が探しやすくなる。 ○屋外広告物の掲示について制限・管理し、良好な景観形成を図る。 	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開発・建築関係の申請について、管理者協議や現地調査など都市計画に関する事務を行う。 ○都市計画審議会の運営事務を行う。 ○内橋地区において、住居表示を実施する。 ○屋外広告物の申請受付、審査、許可を行い、また違反広告物の調査・撤去を行う。 	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2決算額</th> <th>R3決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>7,760</td> <td>10,137</td> </tr> <tr> <td>歳入 (特定財源)</td> <td>5,749</td> <td>1,952</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2決算額	R3決算額	歳出	7,760	10,137	歳入 (特定財源)	5,749	1,952
年度	R2決算額	R3決算額									
歳出	7,760	10,137									
歳入 (特定財源)	5,749	1,952									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開発・建築関係の申請について、管理者協議や現地調査など都市計画に関する事務を行った。 ○大隈西地区市街化区域編入等に関する都市計画審議会の運営事務を行った。 ○内橋東地区において、住居表示を実施した。 ○屋外広告物の申請受付、審査、許可を行い、また違反広告物の調査・撤去を行った。 	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○より良いまちづくりや秩序ある土地利用の促進・維持のため、都市計画に関する知識や手続き方法など、さらなる習得が必要である。 	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当者間の情報共有や関係機関との密な連携を図るため、協議・打ち合わせを定期的に行う。業務の性質上、完了まで長期間を要し、さらに幅広い知識と経験が必要であり、個々の職員のスキルアップに取り組んでいく。 									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

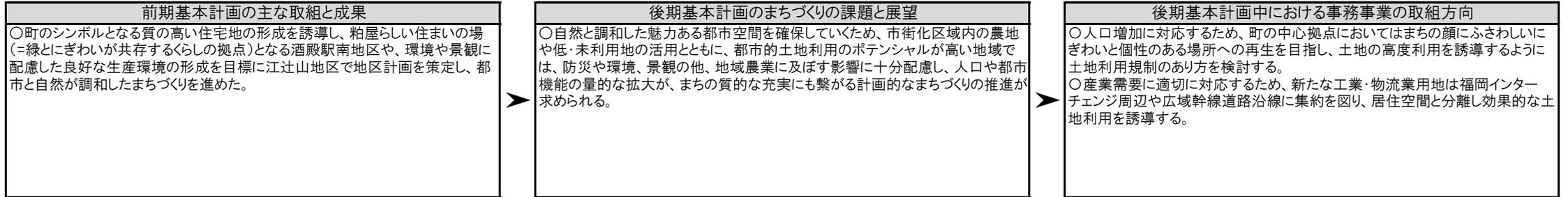
<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり推進に関する支援(建築、開発) ○都市計画マスタープランに基づくまちづくりの推進 ○住居表示事業の効果や社会的必要性などの周知 ○屋外広告物の設置(新規、更新)申請の審査 ○違反広告物について調査、撤去 	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画マスタープランに基づいた計画的な土地開発が進む。 ○住所がわかりやすくなることにより、安心して住みやすいまちづくりが形成される。 ○屋外広告物の制限や管理により、良好な景観が形成される。 	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <p>都市と自然が調和した秩序ある都市空間が形成される。</p>
--	--	---

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
開発及び建築確認協議件数 単位: 件/年	目標値		100	100
	実績値	111	95	
	達成率		95.0%	0.0%
住居表示実施区域の調整 単位: 回/年	目標値		1	1
	実績値	1	1	
	達成率			

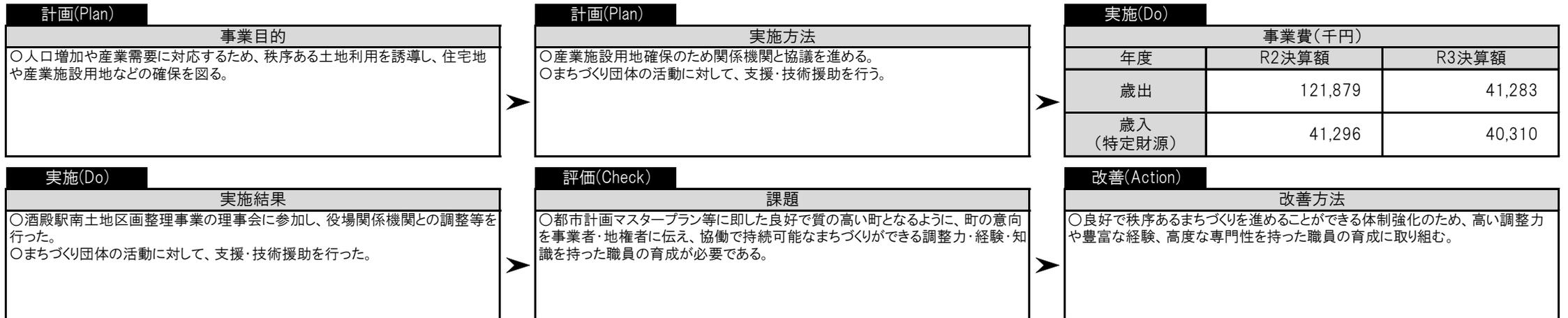
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
土地区画整理事業(又は再開発事業)の認可件数 単位: 件	目標値		5	6
	実績値	5	5	
	達成率			
住居表示整備済面積 単位: km ²	目標値		5.90	6.80
	実績値	5.52	5.88	
	達成率			

事業名	10850107 地域生活空間整備促進事業	所管課	都市政策部 都市計画課	事業年度	令和3年度	事業区分			—
		根拠法令	都市計画法、土地区画整理法	予算科目	会計	款	項	目	都市計画総務費
		行政計画	都市計画マスタープラン		一般会計	8	5	1	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	1 自然と調和した便利で快適なまちづくり	施策	(1) 自然と調和した都市空間の創造				

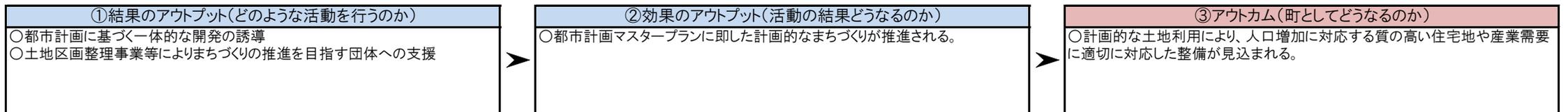
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)

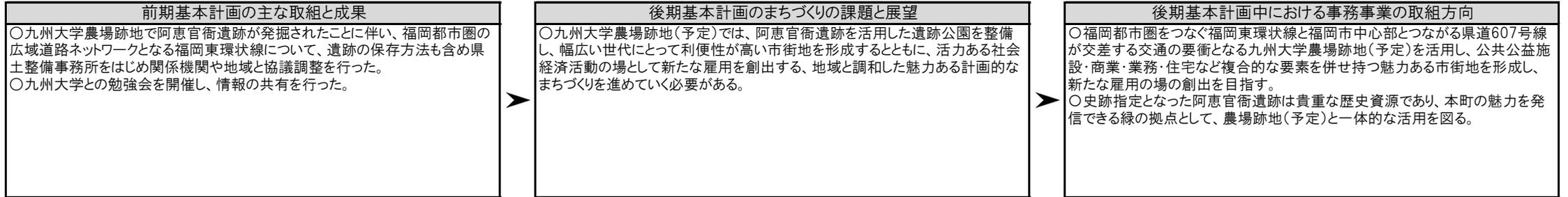


活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
都市計画審議会の開催	目標値		1	1
	実績値	1	1	
	達成率		100.0%	0.0%
単位: 回/年				

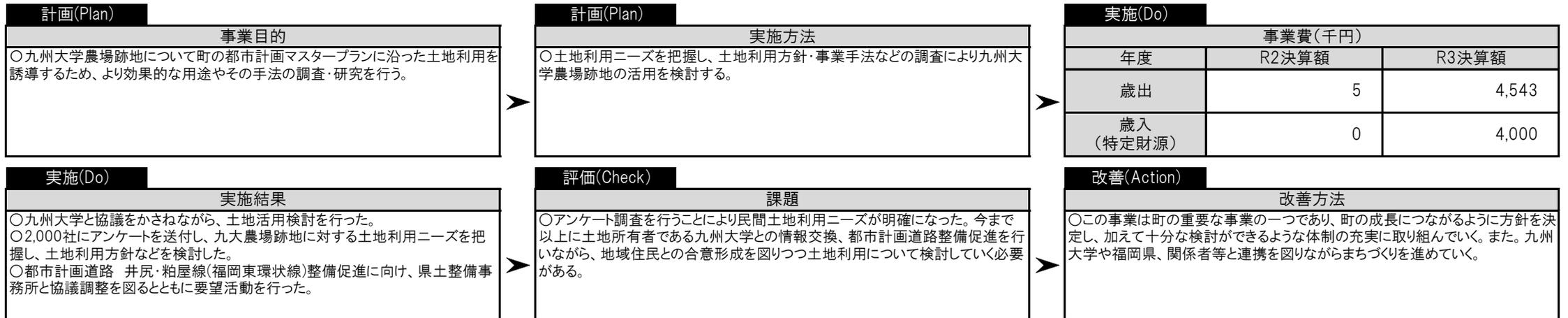
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策]地区計画などの策定地区累積件数	目標値		7	8
	実績値	6	6	
	達成率			
単位: 件				

事業名	10850108 交通対策及び九州大学跡地調査研究事業	所管課	都市政策部 都市計画課		事業年度	令和3年度		事業区分		—
		根拠法令			予算科目	会計	款	項	目	都市計画総務費
		行政計画	都市計画マスタープラン			一般会計	8	5	1	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	1 自然と調和した便利で快適なまちづくり		施策	(1) 自然と調和した都市空間の創造				

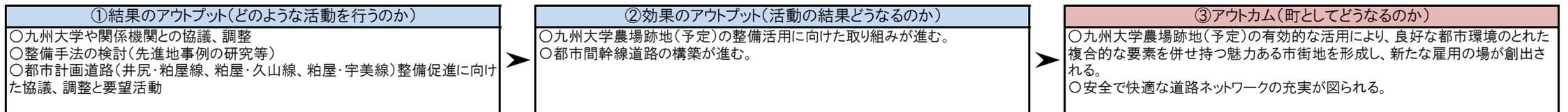
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)

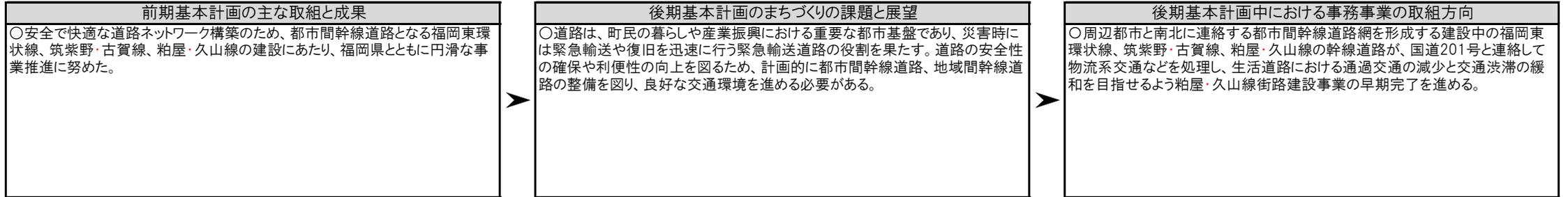


活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
九州大学との協議・勉強会回数	目標値		4	4
	実績値	4	5	
	達成率		125.0%	0.0%
県との協議調整回数	目標値		4	4
	実績値	4	4	
	達成率		100.0%	0.0%

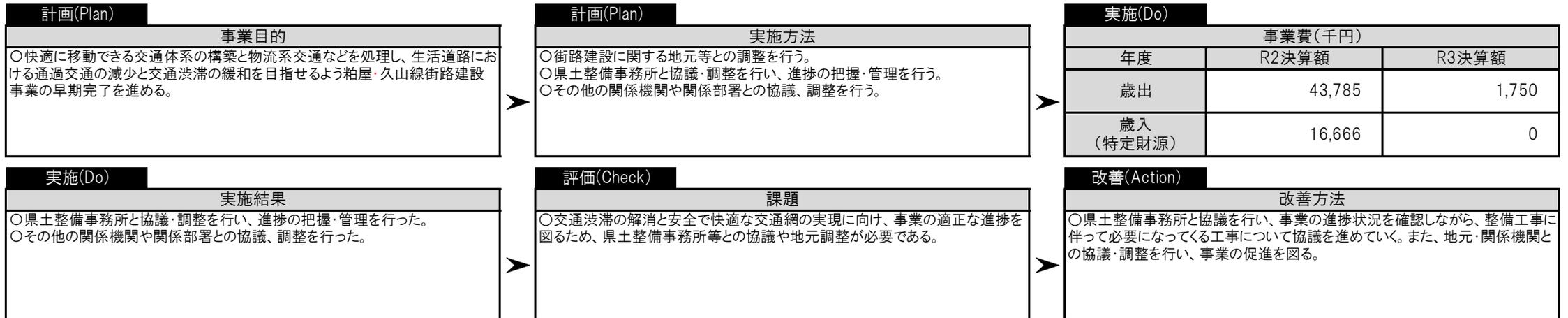
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
都市計画道路の整備延長	目標値			
	実績値		14	15.3
	達成率		14	

事業名	10850112 街路建設事業に伴う町事業	所管課	都市政策部 都市計画課		事業年度	令和3年度		事業区分		—
		根拠法令			予算科目	会計	款	項	目	都市計画総務費
		行政計画	都市計画マスタープラン			一般会計	8	5	1	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり		施策	(1) 安全で快適な道路ネットワークの充実				

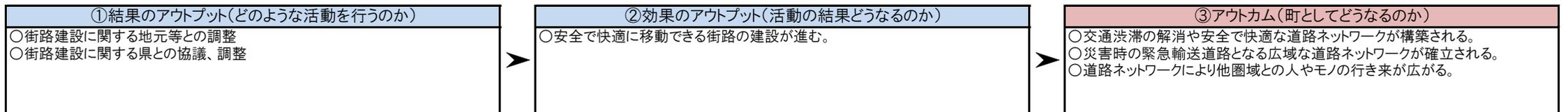
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
県との協議調整回数	目標値		4	4
	実績値	4	5	
	達成率		125.0%	0.0%
単位: 回/年				
目標値	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
街路事業進捗率(事業費ベース)	目標値		82	98
	実績値	65	57	
	達成率			
単位: %				
目標値	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				

事業名	10850113 地域公共交通対策事業	所管課	都市政策部 都市計画課		事業年度	令和3年度		事業区分		重点P(安全安心)/R3重点
		根拠法令			予算科目	会計	款	項	目	都市計画総務費
		行政計画	都市計画マスタープラン			一般会計	8	5	1	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	2 安心で快適な生活基盤を備えたまちづくり		施策	(2) 安全で快適な生活を支える交通環境の創造				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通拠点となるJR駅では、駐輪場の照明のLED化を進め、利用者の安全性の確保を図った。JR袖須駅では、高齢者や障がい者などが安全快適に移動できるよう駅構内のバリアフリー化を行った。 ○交通結節点としての機能を高めるため駅利用が増加する袖須駅では、環境負荷が少ない自転車の利用と鉄道の相互乗り換えをしやすくするため、駐輪場の増設を行い利便性の向上に努めた。 ○地域公共交通の充実のため、町内巡回バスの利用動向調査を行い、今後の運行の方向性を検討した。 ○移動手段を持たない交通弱者が安心して生活できるよう、公共交通空白地域の発生を防ぎ、地域公共交通の確保を図るため、路線バスに対し赤字補填を行い、路線維持に努めた。 	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内に6つのJR駅を有する本町の恵まれた交通環境をさらに充実させるため、交通事業者等と連携し、鉄道、バス等の多様な交通サービスが相互に利用しやすい一体的な公共交通体系を目指し、効率的な公共交通のあり方が必要である。 ○町の中心拠点となる長者原駅と新たな街並みが形成される酒殿駅南側では、にぎわいある拠点として、バス・自動車・自転車・歩行者それぞれが使いやすく、相互乗り換えやキスアンドライドなどしやすい駅前広場等の環境整備を図る。 ○将来にわたる安定的な公共交通の確保を図るため、公共交通空白地の発生を防ぎ、現状の交通機関の利用を促進する必要がある。 ○高齢者や障がい者、子育て家庭等が公共交通を利用しやすいよう、JR駅、バス停の環境改善を図る。 	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通結節点としての機能を高めるための駅周辺の基盤づくりとして、町の中心拠点となる長者原駅では、町内巡回バス・自動車・歩行者それぞれが使いやすく、相互乗り換えやキスアンドライドなどしやすい駅前広場の再整備を行い、町の魅力発信の場として情報板の設置を図る。また、新たな街並みが形成される酒殿駅南側においても相互乗り換えがしやすいよう駐輪場の整備や駅前広場にシェルターの設置を行うと共に、駅の利用がしやすいよう公衆トイレの設置を図る。 ○移動手段を持たない交通弱者が安心して生活できるよう、公共交通空白地の発生を防ぐと共に、交通事業者等と連携し、将来にわたり安定的な公共交通の確保を図る。
---	--	---

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅利用者の利便性の向上のための自転車駐輪スペースを提供する。 ○駅周辺の迷惑駐輪の防止を行う。 ○交通弱者が安心して生活できるよう、公共交通空白地の発生を防ぐと共に、交通事業者等と連携し、将来にわたり安定的な公共交通の確保を行う。 ○駅周辺の利便性・快適性を向上させ、駅の交通結節点としての機能向上を目指す。 	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駐輪場等施設の点検や清掃及び修繕等を行う。 ○放置自転車の撤去及び迷惑駐輪防止の啓発を行う。 ○酒殿駅前において、トイレ・シェルターの整備を行う。 ○公共交通の利便性の向上や既存路線の確保に努める。 	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2決算額</th> <th>R3決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>884</td> <td>83,161</td> </tr> <tr> <td>歳入(特定財源)</td> <td>0</td> <td>58,186</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R2決算額	R3決算額	歳出	884	83,161	歳入(特定財源)	0	58,186
年度	R2決算額	R3決算額									
歳出	884	83,161									
歳入(特定財源)	0	58,186									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駐輪場等施設の点検や清掃及び修繕等を行った。 ○2か月に一度放置自転車の撤去を行い、併せて迷惑駐輪防止の啓発を行った。 ○酒殿駅前において、トイレ・シェルターの整備を行った。 ○公共交通の利便性の向上や既存路線の確保に努めた。 	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅舎にかかわる駐輪場やトイレ等施設の老朽化が進んでおり、恒常的に小規模修繕に追われてしまっている。 ○町管理の駐輪場における放置自転車の撤去は定期的に行っているが、容量が不足している箇所があり、抜本的な解決策が必要である。 ○駅の利便性向上やまちの顔としてよりわかりやすくするため、さらなる駅前整備が必要である。 	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅舎関連施設については必要に応じ改修工事を行う。 ○迷惑駐輪防止のため、路面標示や看板設置を行い、注意喚起を徹底する。 ○駅前の環境整備をさらに進め、公共交通の利便性向上に取り組んでいく。 									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

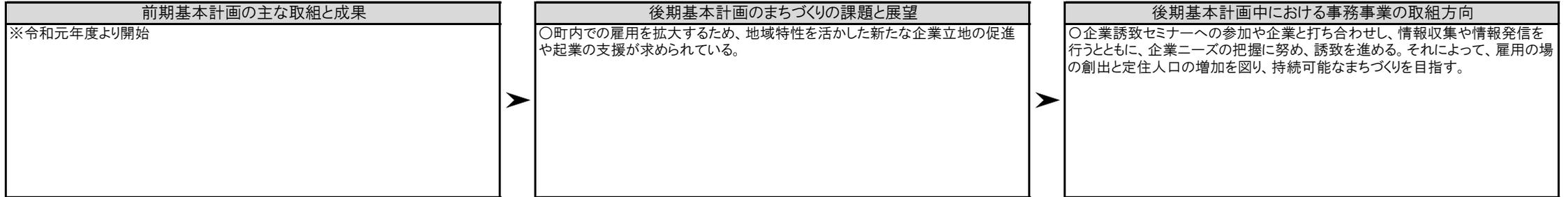
<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長者原、酒殿駅前整備事業の実施 ○JR各駅の駐輪場等町施設の点検や清掃及び維持管理 ○公共交通の利便性向上に向けたJR運行事業者との協議、調整 ○民間バスの維持・確保に向けた対策の実施 	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅前広場再整備や駐輪場設置により、交通結節点としての機能が上がる。 ○駅周辺の駐輪環境等が向上される。 ○JR、バス等の交通サービスが相互に利用しやすい一体的な公共交通体系が形成される。 ○地域の公共交通が維持される。 	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺の環境整備による公共交通の利便性が高まる。 ○生活に不可欠な地域公共交通の確保が図れる。
---	---	--

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
駅前整備事業進捗率(事業費ベース)	目標値		68	100
	実績値	0	68	
	達成率		100.0%	0.0%
路線バス利用促進に向けたPR	目標値		2	2
	実績値	1	1	
	達成率		50.0%	0.0%

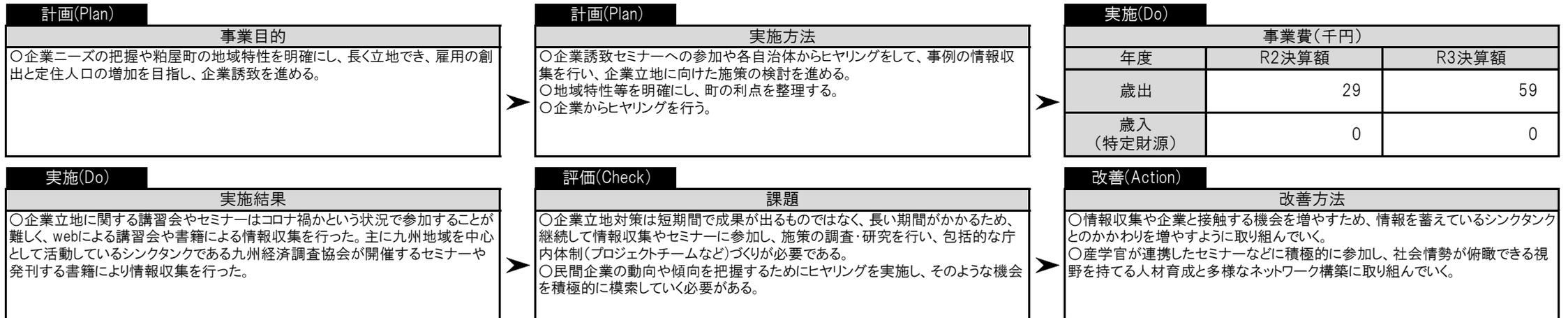
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
[施策]鉄道の延べ利用者数	目標値		13,300	14,500
	実績値	12,700	11,000	
	達成率		82.7%	0.0%
路線バス利用者数(赤字補填路線)	目標値		6,600	7,000
	実績値	6,500	4,712	
	達成率		71.4%	0.0%

事業名	10850114	企業立地対策事業	所管課	都市政策部 都市計画課		事業年度	令和3年度		事業区分		重点P(持続成長)/R3重点
			根拠法令			予算科目	会計	款	項	目	都市計画総務費
			行政計画				一般会計	8	5	1	
基本目標	2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	政策	4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり		施策	(2) 地域に活力をもたらす商工業の振興					

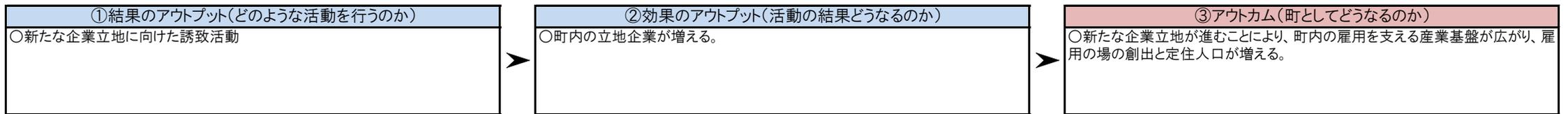
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
企業誘致打合せ件数 単位: 件	目標値		4	20
	実績値	0	3	
	達成率		75.0%	0.0%
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R3年度	R7年度(最終)
企業立地件数 単位: 件	目標値		0	1
	実績値	0	0	
	達成率			0.0%
単位:	目標値			
	実績値			
	達成率			